

ディスコグラフィー収録

ディスコグラフィー 【2026No.208】 (HP 掲載)

分類：LP

作曲家：ヨハン・シュトラウス 2 世他

曲名：オペレッタ『インディゴと 40 人の盗賊』序曲他

演奏：ヤニック・ネゼ＝セガン指揮ウィーンフィル:

発売：SONY CLASICAL

No. : 198029966701

概要：



【収録内容】

01. ヨハン・シュトラウス 2 世：オペレッタ『インディゴと 40 人の盗賊』序曲
 02. ツィーラー：ワルツ『ドナウの伝説』 Op.446★
 03. ランナー：マラプー・ギャロップ Op.148-1★
 04. エドゥアルト・シュトラウス：ポルカ・シュネル『暴れる小悪魔』 Op.154★
 05. ヨハン・シュトラウス 2 世：こうもりカドリーユ Op.363
 06. ヨハン・シュトラウス 1 世：ギャロップ『パリの謝肉祭』 Op.100
 07. スッペ：オペレッタ『美しきガラテア』序曲
 08. ヴァインリッヒ：ポルカ・マズルカ『セイレーンの歌』 Op.13 (W.デルナー編)
- ★

09. ヨーゼフ・シュトラウス：ワルツ『女性の真価』 Op.277★
10. ヨハン・シュトラウス 2 世：ポルカ・フランセーズ『外交官のポルカ』 Op.448
11. フローレンス・プライス：レインボー・ワルツ
12. ロンビ：コペンハーゲン蒸気機関車ギャロップ
13. ヨハン・シュトラウス 2 世：ワルツ『南国のばら』 Op.388
14. ヨハン・シュトラウス 2 世：エジプト行進曲 Op.335
15. ヨーゼフ・シュトラウス：ワルツ『平和の棕櫚の葉』 Op.207

この他に下記のアンコール曲

16. ヨハン・シュトラウス 2 世：美しく碧きドナウ
17. ヨハン・シュトラウス 1 世：ラデツキー行進曲

録音：2026 年 1 月 1 日

ウィーンムジークフェラインザール ライヴレコーディング

どの曲も定位もはっきりしていて、ウィーンフィルの厚みと深みのある音がムジークフェラインザール内に躍動するように響き渡る様子が再現されています。

小太鼓のリズムが入らないような曲では、ウィーンフィルらしい柔らかい弦と木管が魅力的ですし、これがムジークフェラインザールの音とはっきりわかりますし、放送受信の時は気づかなかったトライアングルのかすかな音にも気づきました。

放送ストーリーミング情報【2026No.394】で報告したとおり、E テレの放送の DMR UBZ1 の録画は 1 月 10 日の再放送で実施し、DA-3000 で 5.6MHzDSF フォーマットで DA-3000 により 5.6MHz の DSD で録音しました。NHK ONE の E テレは、1 月 2 日のアーカイブの見逃し配信から同じく DSD 録音していますので、これらとも聴きくらべてみました。これらの DSD 録音は、fidata HFS1-S10 に収納し、Brooklyn DAC+ に送り出します。

DMR UBZ1 経由の録音も NHK ONE の PC 経由の録音も、上記のアナログ盤に比べれば滑らかさでは及びませんが、NHK ONE の PC 経由は LAN 経路の光アイソレーションの効果でアナログ盤に幾分か近づいているように感じます。NHK ONE の音声は 48kHz/16bit だそうなので、音楽番組だけでももう少しグレードを上げてほしいところでは。

元旦当日のリアルタイムの放送と NHK ONE の受信を楽しみ、DSD 録音でも復習し、最後にライブ収録のアナログ盤を鑑賞するという経緯となりました。

以上